

■クリックジャッキング攻撃の仕組み

クリックジャッキング攻撃は、ログイン機能のあるウェブサイトの入力フォームのような箇所を2重に細工し、利用者が意図しないクリックを誘発させる仕組みです。

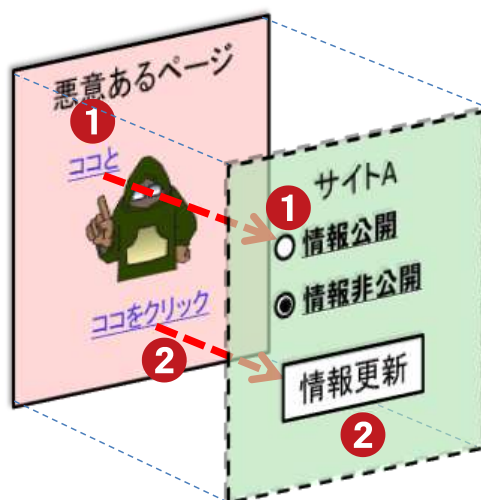


図1：ウェブサイト上の入力画面が2重になっているイメージ

図1の「サイトA」は実際には透明に作られており、利用者にとっては情報公開に関する登録を変更するための操作であることは認識できません。

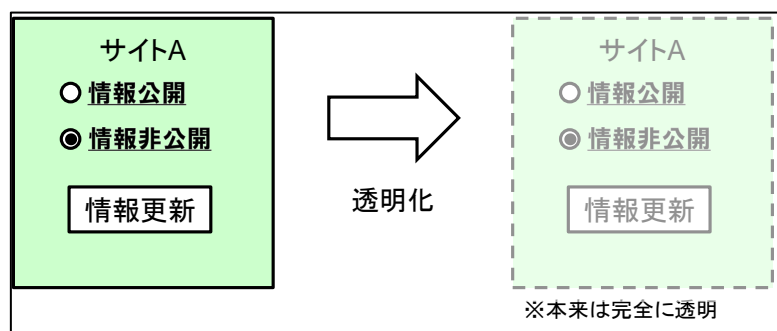


図2 表示形式が透明になるように細工されたサイトAのページ

実際、目に見えるのは、「悪意あるページ」に記載されている内容で、「プレゼント応募はコチラ」というような、利用者が思わずクリックしてしまうような記述が施されています。

さらに「サイトA」と「悪意あるページ」の画面上の同じ位置(図1の①、②)に細工を埋め込むことで、この場合であれば、利用者が「情報公開のボタンを選択し、情報を更新する」操作を行うことで、自覚がないまま情報を公開してしまいます。